

自然を基調にした健康づくりの情報誌 トータルヘルス

Physical·Mental·Spiritual
Simple·Economical·universal
Total Lifestyle Change

年6回発行
年間購読料 円共1800円
郵便振替 トータルヘルス 00190-9-173681

No.64



O-157 菌

驚くべき唾液のパワー

巻頭言

昭和41年、食品防腐剤としてAF-2が登場した。この添加物はかなりの強力な保存力があることで、業界は魚肉ソーセージ、豆腐など多くの加工品にこれを混入した。しかしその後、発ガン性などが認められAF-2の使用認可は取り消された。その毒性は水槽中の金魚が死ぬ程度であった。認可から9年後、AF-2の使用は中止されたが、この間に体内に蓄積されたこの物質は現在発症するガンの遠因となっていると考える研究者もいる。政府で認可された添加物だからといって必ず安全とは限らない。だから、そのような食品は食べないほうが望ましいが、現実、これらを完全に避けるのは難しい。現代も多くの添加物が使用されている。このような食環境の中にある現代人は、いつ体に現れてくるかもしれない添加物の影響を恐れながら生きなければならないのだろうか？

否、ここに一つの提案をしてみたい。唾液研究の第一人者である西岡博士は、ある時唾液の力のすごさを発見した。AF-2に唾液を付けておいたら、この物質の発ガン性がかなり弱められていた。氏はこの結果に驚き、さらにはアフラトキシン、グルタミン酸、タバコのヤニなどを対象に次々と実験を重ね、唾液はどんな毒をも強力に解毒することがわかった。戦中、軍医として上海に渡った沼田勇医師も特別な体験をした。当地は不衛生で劣悪な環境だった。仮設テントの中で一人の兵士がコレラで命を落した。感染が広がれば多くの犠牲者を出すことになる。そこで沼田医師は兵士たちに「食事はよく噛んで食べること、食後20分間は全く水分を摂らないこと」を厳守させた。彼は唾液の力と、食後すぐに水を飲めば胃液が薄まり、口や胃の中で作られる病原微生物に対する防御機構が弱まる事を知っていたからだ。全兵士がこれを忠実に守った。そのおかげで二千人の兵士全員が感染の危機を脱し日本へ復員できた。コップ一杯の生理食塩水にコレラ菌を入れ、そこに胃液中の塩酸を一滴たらすだけで、菌は瞬時に死滅する。O-157菌も唾液によって殺菌され、ほとんどの発ガン物質もその毒性は弱められる。

添加物は摂らないことが望ましい。しかしそれらを食べるものがあつたとしても十分に噛み、唾液と混じり合わせるならば、その結果は恐れる必要はない。唾液パワーは毒にも勝つて強いからだ。良く噛むことで若返りや脳の活性化も望めるといふ。このような素晴らしい人体機能を十分に活用し、その益をこれまで以上に受けようではないか。

資料「噛めば体が強くなる」西岡一著 草思社
「かかる軍人ありき」伊藤桂一著 光人社

Contents 目次

- 巻頭言 もっと活かそう唾液の力 1
- 連載 うつ病からの脱出⑧一回復に役立つハーブ 2~7
- 家庭でできる自然療法 夜尿症 8~9
- クッキング ヘルシーお正月料理 10

- Topics 電磁波に気をつけて 11~13
- Topics 食べ物でつくる抗生物質 14
- NKKだより 米国医療機関見学ツアーのご案内 16